

～くるくるぬりえモビールに登場する生き物たち～
飼育員ワンポイントガイド

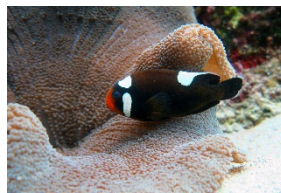


クマノミの仲間たち

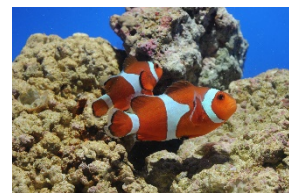
浅いサンゴ礁に暮らしている人気者です。毒針をもつイソギンチャクに隠れることで身を守っています。クマノミ自身は毒針を発射させない特別な粘液で体が覆われているため、イソギンチャクには刺されません。オスからメスへ性別が変わる「性転換」をする魚としても知られています。



ハマクマノミ



トウアカクマノミ



カクレクマノミ

ジンベエザメ



魚類最大の魚で、大きくなると 10m 以上になるといわれています。その大きさは大型バスと同じくらいです。体は大きいですが、小さな動物プランクトンを食べます。餌を食べる時には、周りの海水ごと大きな口で豪快に吸い込みますが、口の中にあるこし取り器（スポンジのように目の細かいもの）で餌と海水を分け、餌だけを飲み込み、海水はエラから体の外に出します。餌が海面近くにたくさんある時は、立ち泳ぎで下から一気に吸い込むことがあります。

オキナワクルマダイ



紅白のしましま模様と大きな眼が特徴的な、深海に暮らす魚です。大きな眼には、暗い深海でもまわりがしっかり見えるよう、特別な仕組みを持っています。獲物を見つけると大きな口で一飲みにしてしまいます。

